

世界を知る

2022.6.17

世界全体

感染者数

5億3366万

死者数

630万

世界全体

感染者数

5億3733万2766人

死者数

631万4365人

i この地図について



感染者数

死者数

< 前日へ

5

5/27

5/28

< 前日へ

6/1

6/2

6/3

6/4

6/5

6/6

6/7

6/8

6/9

6/10

6/11

6/12

6/13

6/14

2022
6/15

東京都 ▼

● 1日ごとの発表数 ○ 累計

29500 (人)

23600

17700

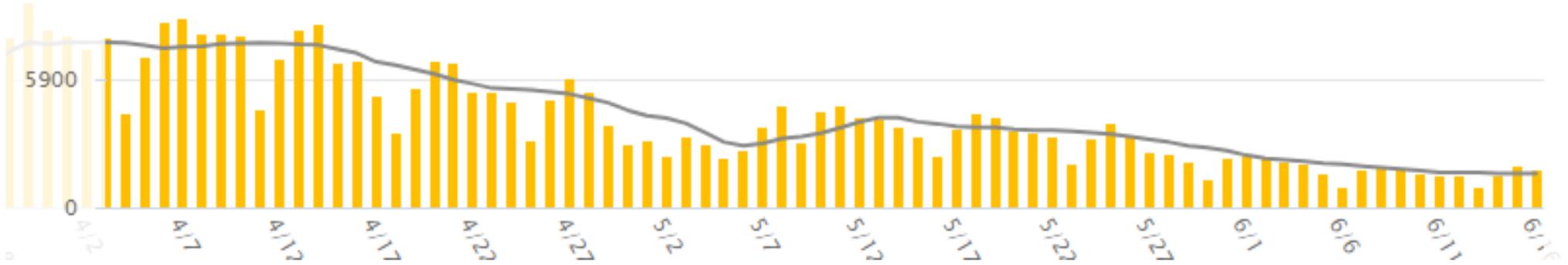
11800

5900

0

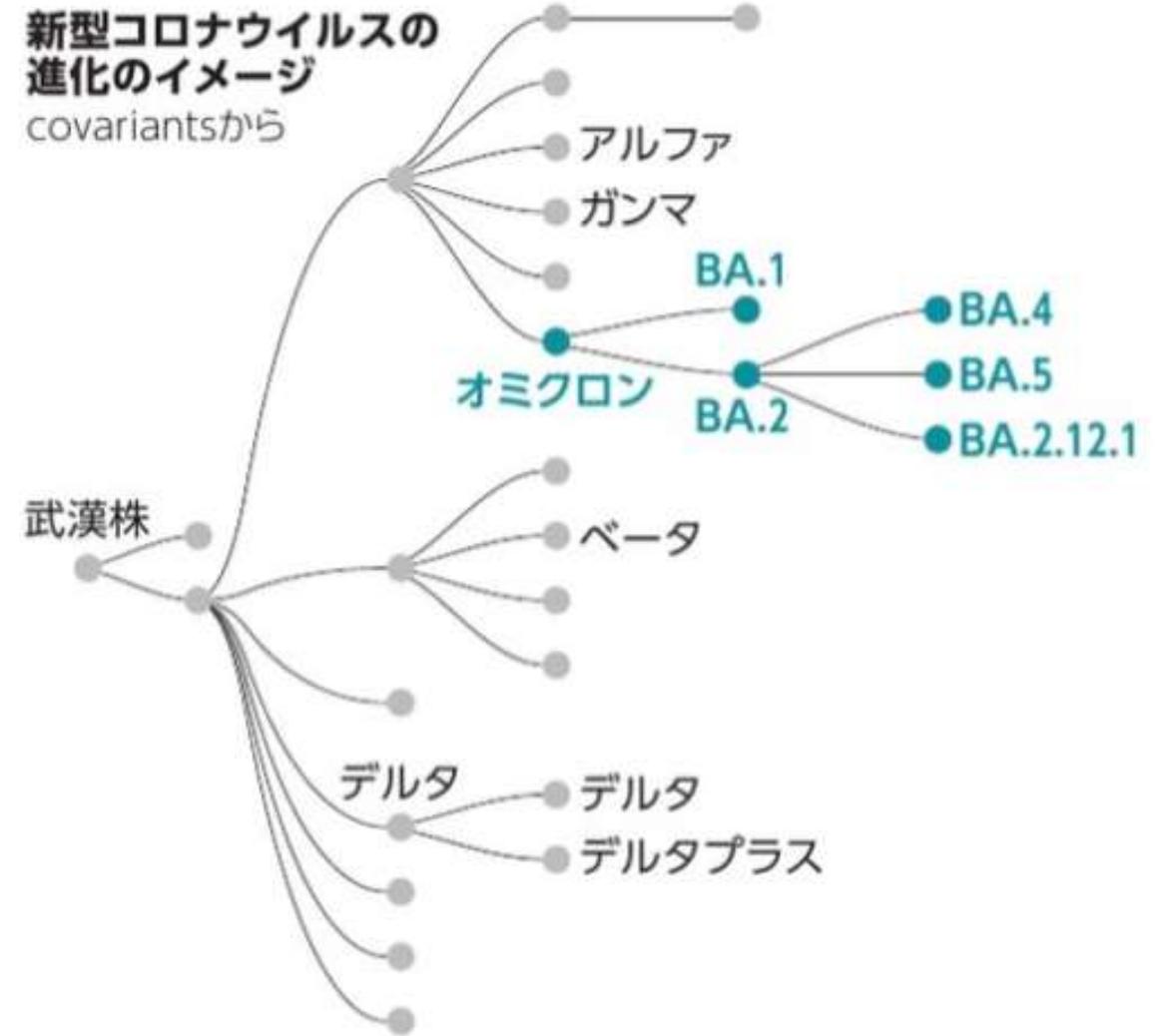
4/12 4/17 4/22 4/27 5/2 5/7 5/12 5/17 5/22 5/27 6/1 6/6 6/11 6/16

- 昨日は1819人で先週木曜からは55人減少
- 一昨日2015人で先週水曜から80人増加
- 低下傾向が鈍っている
- 県民割などの景気刺激策が展開
- 昨年の6月16日の感染者は500人だった
- 感覚が鈍ってきている可能性が高い



新型コロナウイルスの今後は？

- 感染拡大が一旦落ち着く
- 今夏の流行の可能性小
- その先は未知数
- 専門家はワクチン接種で対応
- FDAも今後変異繰り返すと
- 今後免疫力の低下が心配
- ワクチンで更なる変異もある
- まだ2～10年は流行する





なかなか進まぬ承認

- 国産ワクチンの薬事承認が進まぬ
- 塩野義製薬の経口抗ウイルス薬
- 軽症・中等症のための薬
- 条件付き早期承認適用
- 治験データ400人
- ウイルス量低下は確認できた
- 副反応のデータ不足
- 今国会で緊急承認制度が成立

政府の期待と慎重な審議会側

- 現状では重症者用の飲み薬はある モルヌピラビル等
- 軽症・中等症はない
- 政府は100万人分の購入を決めている 支援金62億円
- 動物実験でウサギの胎児に催奇形性が認められた
- 現状で科学的な十分なエビデンスはない
- 「夢の新薬」と思われないように
- 過度な期待を冷静に判断する事こそ大切 臨床試験3年
申請・審査1～2年
- 一般的な新薬は開発から製品化まで10年かかる

この1週間を振り返って

- 6月11日 日米豪の共同訓練拡大へ 中国念頭に
- 6月12日 WTO閣僚会議開催される 指導力持てるか
- 6月13日 国連人権高等弁務官バチエレ氏退任へ
- 中国訪問 ウイグル人権問題で中国に利用された
- 6月14日 サル痘患者増加 懸念される緊急事態
- 6月15日 習近平氏 プーチン氏の支持継続を伝える
- 電話会談で長期的に結束を約束 台湾問題言及
- 6月16日 インターネット 익스プローラーのサポート終了

昨年の議会乱入事件の公聴会



危機感高まる

- 世界情勢が緊迫化している中
- ニカラグアがロシア軍の駐留許可
- 人道支援の一環
- アメリカの喉元
- キューバ危機に似る
- アメリカの対応は？

反米のニカラグア政権、米の「裏庭」に露軍駐留認める大統領令…
ウクライナ巡りけん制か

6/13(月) 18:48 配信 9

読賣新聞 オンライン



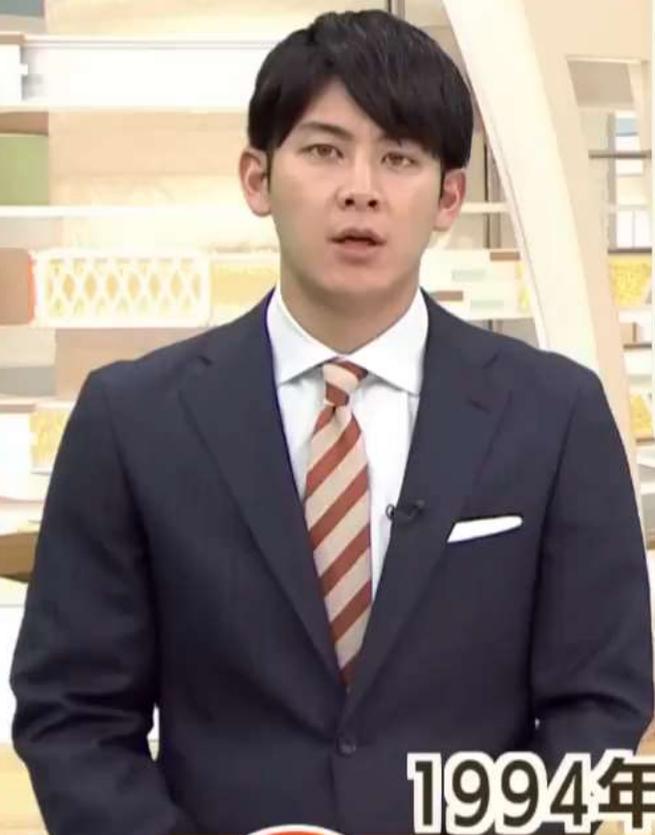
オルテガ大統領 (A P)



【サンホセ（コスタリカ）＝淵上隆悠】中米ニカラグアの反米左派ダニエル・オルテガ大統領は、露軍の兵士や航空機などの駐留を許可する大統領令を出した。米国の「裏庭」で露軍の活動が活発化することにつながりかねず、波紋を広げそうだ。

7日付官報によると、許可期間は7～12月。「交流や人道支援、緊急事態時の相互利益」を名目とし、反米左派のキューバやベネズエラ、中米諸国、米国の軍も対象とした。ただし、米軍だけは「事前に計画、調整した上で」と条件をつけており、実現性はほぼないとみられる。

止まらない、インフレ傾向



1994年以降最大

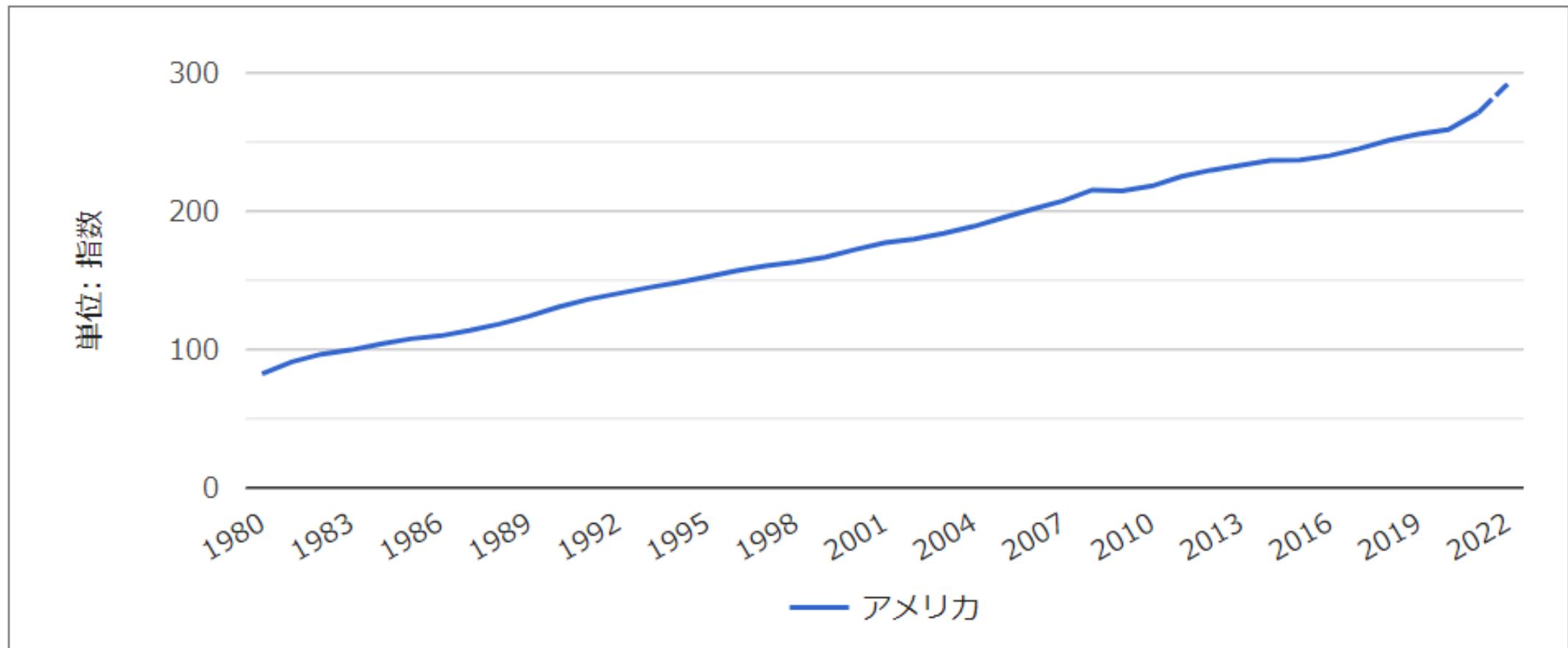
中継

米FRB 0.75% 利上げ発表

止まらない消費者物価の上昇

アメリカの消費者物価指数の推移

1983年を100



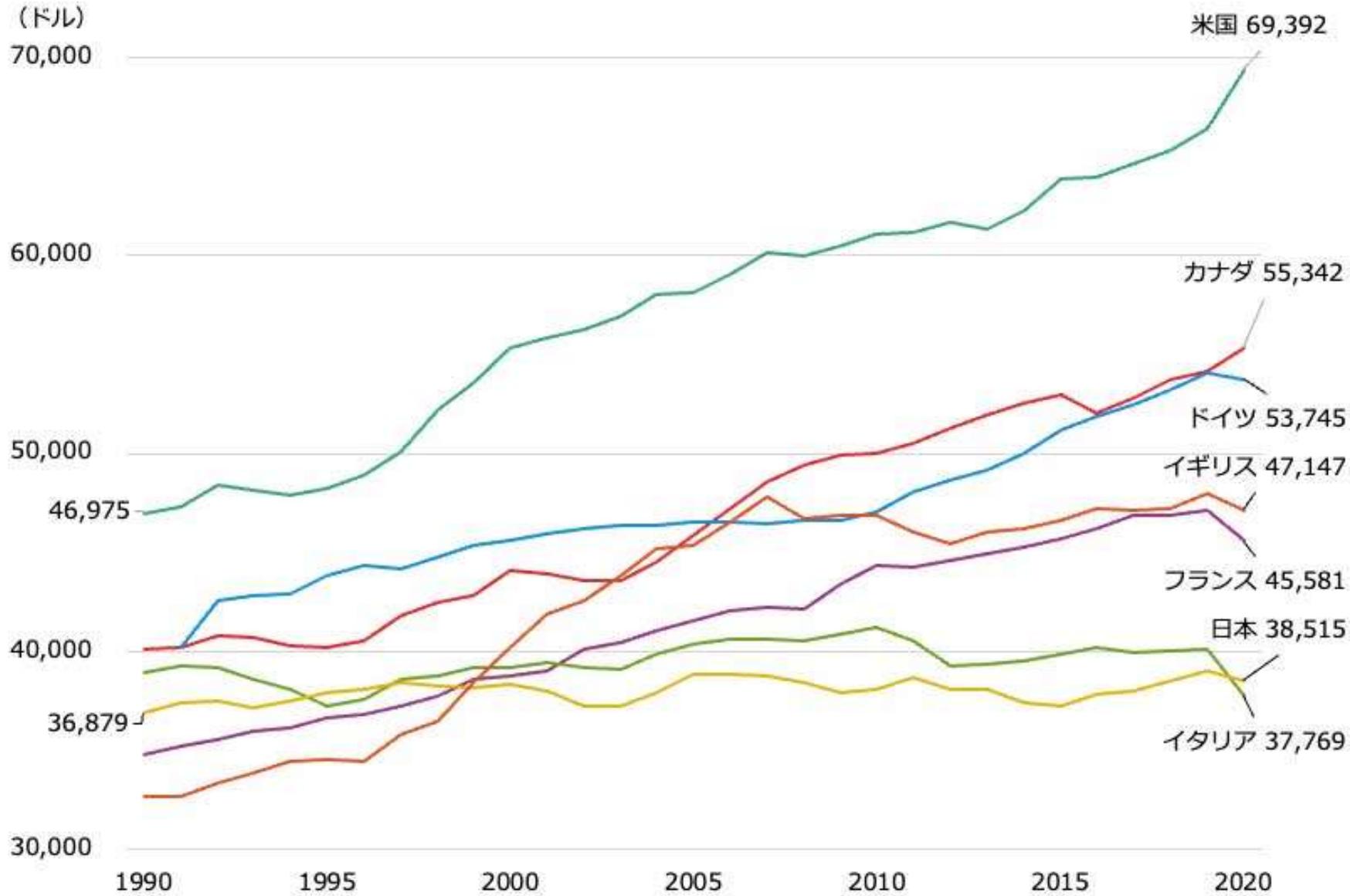
アメリカの現状

- 5月の前年同月比8.6%の物価上昇
- 低所得者層の食事代が逼迫している
- 車社会のアメリカにとってガソリン代値上がりが痛い



- 新型コロナの感染拡大による経済の停滞
- 物流が停滞し各地で品不足
- 労働者の雇止めが拡大＝労働力不足から回復せず
- 現在消費の停滞がないが今後は不明

主要国の平均賃金の推移



- アメリカ 30年で約300万上昇
- 日本 30年ほぼ横ばい

1995年～2020年までの変化

- | | 物価 | 名目賃金 | |
|-------|-------|-------|----------------|
| •アメリカ | 1.7倍 | 2.23倍 | =6月初め 1.75%に利上 |
| •ドイツ | 1.41倍 | 1.64倍 | |
| •イギリス | 1.64倍 | 2.08倍 | =5月初め 1%に利上 |
| •韓国 | 1.92倍 | 2.92倍 | =5月末 1.75%に利上 |
| •日本 | 1.04倍 | 0.96倍 | =0金利を続ける |
- 日本は物価上昇もないが賃金上昇が抑えられて現在に至っている

最低賃金の差（時給）

• アメリカ ロサンジェルス	2150円	7月から
• ドイツ	1480円	7月から
• イギリス	1580円	4月から
• 韓国	955円	1月から
• 日本	930円	昨年10月から



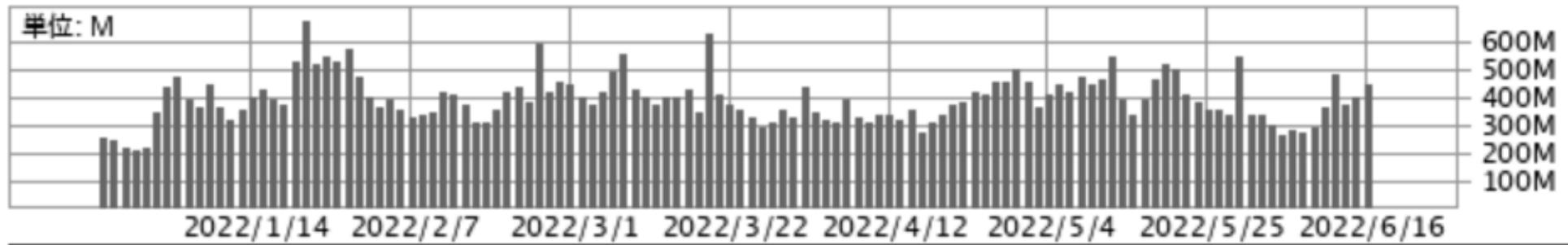
- 岸田首相は1000円にという方針を発表している

アメリカの株価は先行き不安を露呈している

1日 | 2日 | 3日 | 5日 | 10日 | 1ヶ月 | 2ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 2年 | 3年 | 5年 | 10年

日足

22/06/16 17:52 EST



上段: 単純移動平均(5) 単純移動平均(25) 単純移動平均(50)

下段: 出来高 単位:(M株/口/枚)

世界の国々全てで言えること

- 新型コロナウイルスの蔓延から2年半
- ロシアのウクライナ侵攻から3月半
- 気候変動による干ばつ・洪水の被害



- グローバル化していた社会が個を優先する体制へ
- お互いに助け合う姿勢が弱体化してきている
- いつまでも平和で安定した生活の維持は厳しい状況
- 今後世界各国がどう取り組んでいくのか

地球温暖化をどう止めるか



氷河湖が崩壊し洪水が発生



8:41

NHK

2

20h

イラクで拡大する砂嵐

10:09

Yellowstone National Park

ヨセミテ国立公園で
洪水の被害拡大



温暖化防止のためのパリ協定

- 2016年から発効
- 2021年 ロンドンのCOP26で実施要件を確認
- 長期目標として2°C目標の設定。1.5°Cに抑える努力を追求
- 全ての国が削減目標を5年ごとに提出・更新・検証
- 先進国による資金の提供



- 現実には止まらない

地球温暖化が進行

干ばつ2年 飢えるケニア北部

政府、「国家災害」を宣言



2022

「アフリカの角」と呼ばれる大陸北東部で、2年に及ぶ干ばつが続いている。生活の基盤である畜畜を失った牧畜民たちは、餓死の危機にさらされている。

風が吹くと、マスク越しにも死臭が鼻をついた。目の前では、50人以上のヤギの死体が地面に張り付くように干からびつつあった。

「これはごく一部。死んだ家畜はこんなものじゃない。向こうでもっと死んでいるのを、自分の目で確かめなさいよ」

1月29日、干ばつが続いているケニア北部モイテ村を訪れると、シェンタ・ロブスさん(50)が、こちらをならみつけるように叫んだ。財産の全てである280匹のヤギのうち、2匹を残して全てを失ったという。電報も水道も通っておらず、携帯電話の電波さえ届かないその村の中心部から、さらに数キロ離れた荒地にロブスさんは暮らす。

ケニア北部は、隣接するエチオピア南部、ソマリア南部とともに2020年10月、21年9月、同10月、12月の3回の雨期で十分な雨が降らず、世界食糧計画(WFP)が「1981年以降最も乾いた状況」と表現する干ばつにあえ、ケニア政府は昨年9月に「国家災害」を宣言。3カ国で飢饉状態に陥っている人はすでに推計1400万人に上っており、今年末までに10万人に達する恐れがあるとWFPは警告している。

ロブスさんによると、ヤギたちが一斉に死んだのは1月20日(土)の夜だった。

長く続いた干ばつによって、ヤギのえさとなる雑草はほとんど残っていなかった。ロブスさんはその日、あばら骨が厚き上がったヤギたちを連れ、少しでも草の生えている場所を探して肥えきつた川を渡り、自宅の敷地先で放牧していた。

すでに衰弱きついていたヤギだが、大量死を招く最後の決定打となったのは、皮肉にも待ちわびていた雨だった。

午前8時(土)のことだ。突然、大雨が降り始めた。往時を感じたロブスさんは、ヤギたちを連れて自宅を目指した。だが、ぬかるみ始めた地面に足を取られ、雨と強い風に体温を奪われたヤギたちは次々にひざから崩れ落ちた。川底に倒れたヤギたちはその後の雨流にのまれ、からくも残った数十頭も結局、自宅のすぐ近くで重なるように倒れた。



「お願ひだから何かを下さい。このままでは、子どもたちが餓えて死んでしまふ」

雨が降った大地には、わずかに雑草が芽吹き始めていた。だが、その恩恵を受けるはずの家畜は周囲に見あたらない。

ケニア国家干ばつ管理機関(NDMA)によると、21年10月、12月の3カ月だけで干ばつによる家畜の犠牲は143万頭を超え、今年に入ってからその数はさらに増え続けている。

生活の柱のヤギが… 家畜143万頭超死ぬ



干ばつは、人間の飲み水さえ脅かしている。長期の水不足が、牧畜によって生きる人々の生活の基盤を揺るがしている。気温40度。バガシ村を訪れると、日陰にいても汗が噴き出した。日なたから吹く風を受ける。熱波で息がでないほどだった。村人たちは、「最後に来た雨は乾いた」と訴える。

干ばつで多くの家畜は死に絶え、生き残った家畜を連れて若い男たちは、草を求めて40キロ離れた山の上へと移動した。約170戸が暮らすという村にいま残るのは主に年寄りや病人、女性、子どもだ。

ロルゴイ・エレモさん(45)は、「倒れていた500匹のヤギが全滅した」と、体調が優れない様子で語った。エレモさんの体調不良には、わけがある。村人は、貯水池の水が干上がる。飲料水や生活全般の水として約7、8の深い井戸に頼ってきた。干ばつが長期にわたるに従って井戸水も塩分が濃くなってきた。塩の含まれない水が出る水場は20ヶ所あり、遠くまで毎日通って通えない。



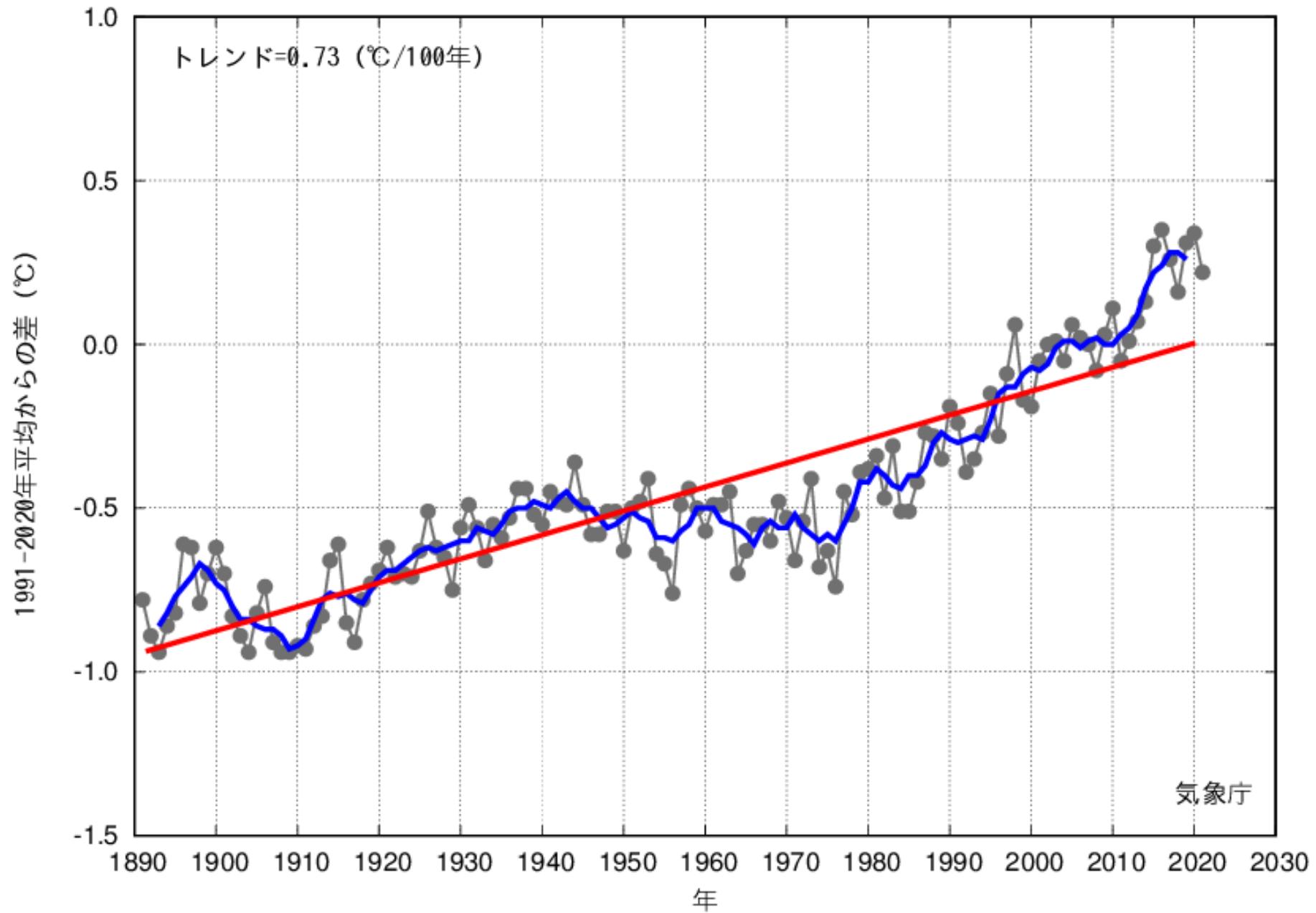
①干ばつで死んだ牛の頭骨。周囲には死んだ家畜たちの無数の白い骨片が散らばっていた(ケニア北部トゥンチャ)

②干ばつで衰弱し、雨風によって死んだヤギたち。強い呼吸が聞こえるが、住民らは腐りつつあるヤギ肉を食いつけないでいる(ケニア北部モイテ)

③乾ききつた川底を渡り、飲み水をくむ少女(ケニア北部モイテ、いずれも1月)

貯水池干上がり 塩含む水飲むしかなく

世界の年平均気温偏差



世界的に気温が上昇中

- 北極海の氷が減少 南極も氷山が倒壊
- 高山の永久氷雪が解け始める
- 巨大化する高気圧・低気圧
- 世界各地で起こる干ばつや豪雨
- 台風や竜巻の被害が拡大している
- 生活基盤を失う(土地や食糧など)
- 人口増は止まらない => 消費も止まらない
- 宇宙船地球号はどうなっていくのか？

黒潮の大蛇行

19.98° N, 153.31° E ×

160° @ 0.32 m/s

1.67 m

データ | 海流 @ 地上 + 有義波高

日付 | 2022-06-16 09:00 Local ⇄ UTC

データ出典 | WAVEWATCH III / NCEP / NWS

スケール |

操作 | 最新     グリッド  HD 

Mode | 大気圏 **海** 大気化学 粒子状物質 宇宙 Bio

動画 | 風速 **海流** 波浪

レイヤー | 海流 波浪 **有義波高** 海面水温 海面水温異常

BAA 無

投影法 | A CE E **O** P S WB W3

サイトについて

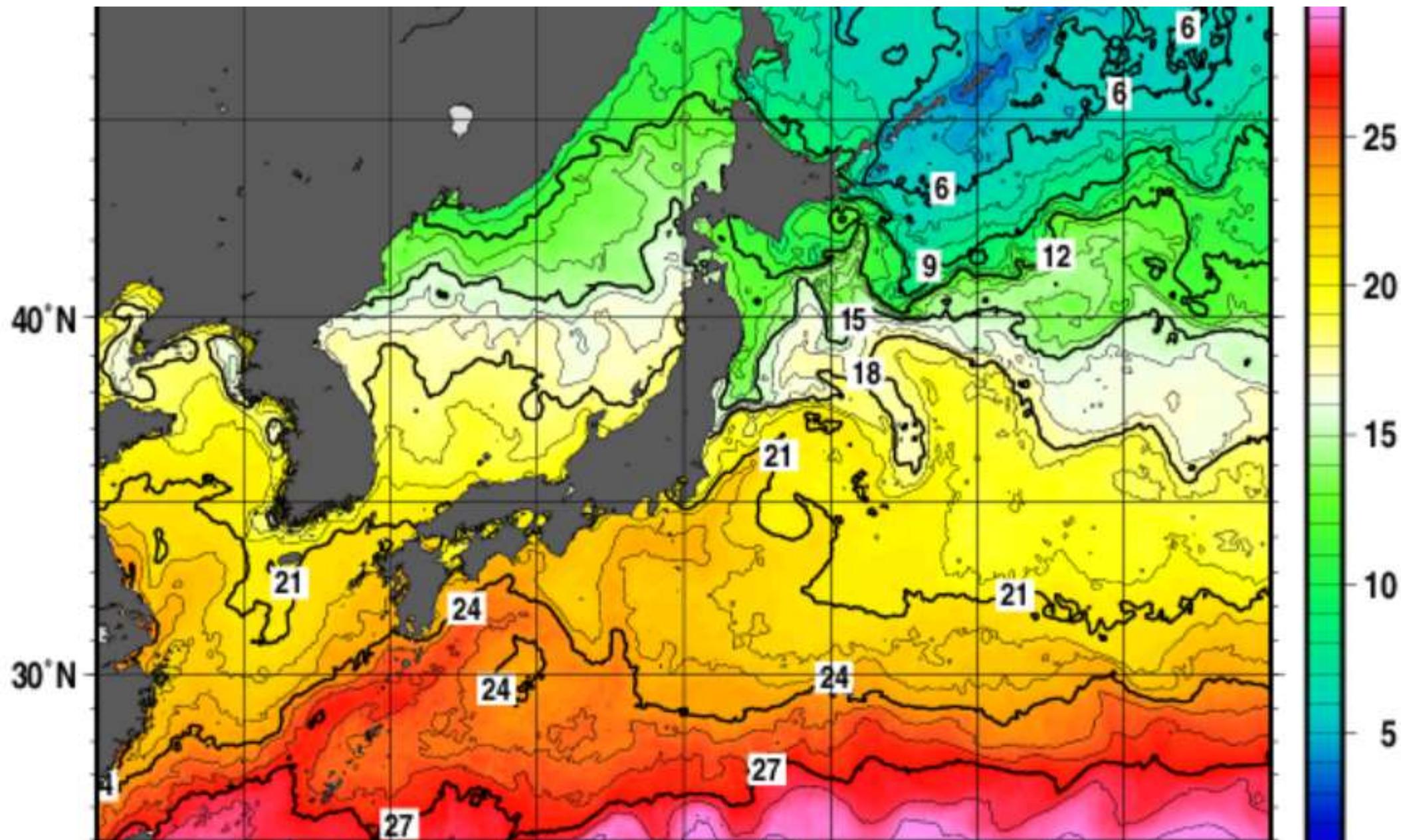


switch to classic



earth

2022年6月15日





蒸し暑くなる

大量の水蒸気



金沢

本州
日本

名古屋

大阪

神戸

広島

四国

黒潮反流

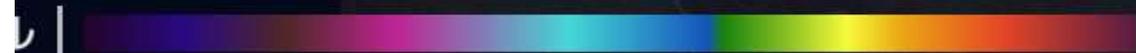
N, 151.51° E ×

43 km/h

風速 + 気温 @ 地上

2022-06-16 19:00 Local ⇄ UTC

出典 | GFS / NCEP / US National Weather Service



最新 白 ◀ ◻ ▶ ▶▶ グリッド ▶▶ HD ▶

大気圏 海 大気化学 粒子状物質 宇宙 Bio

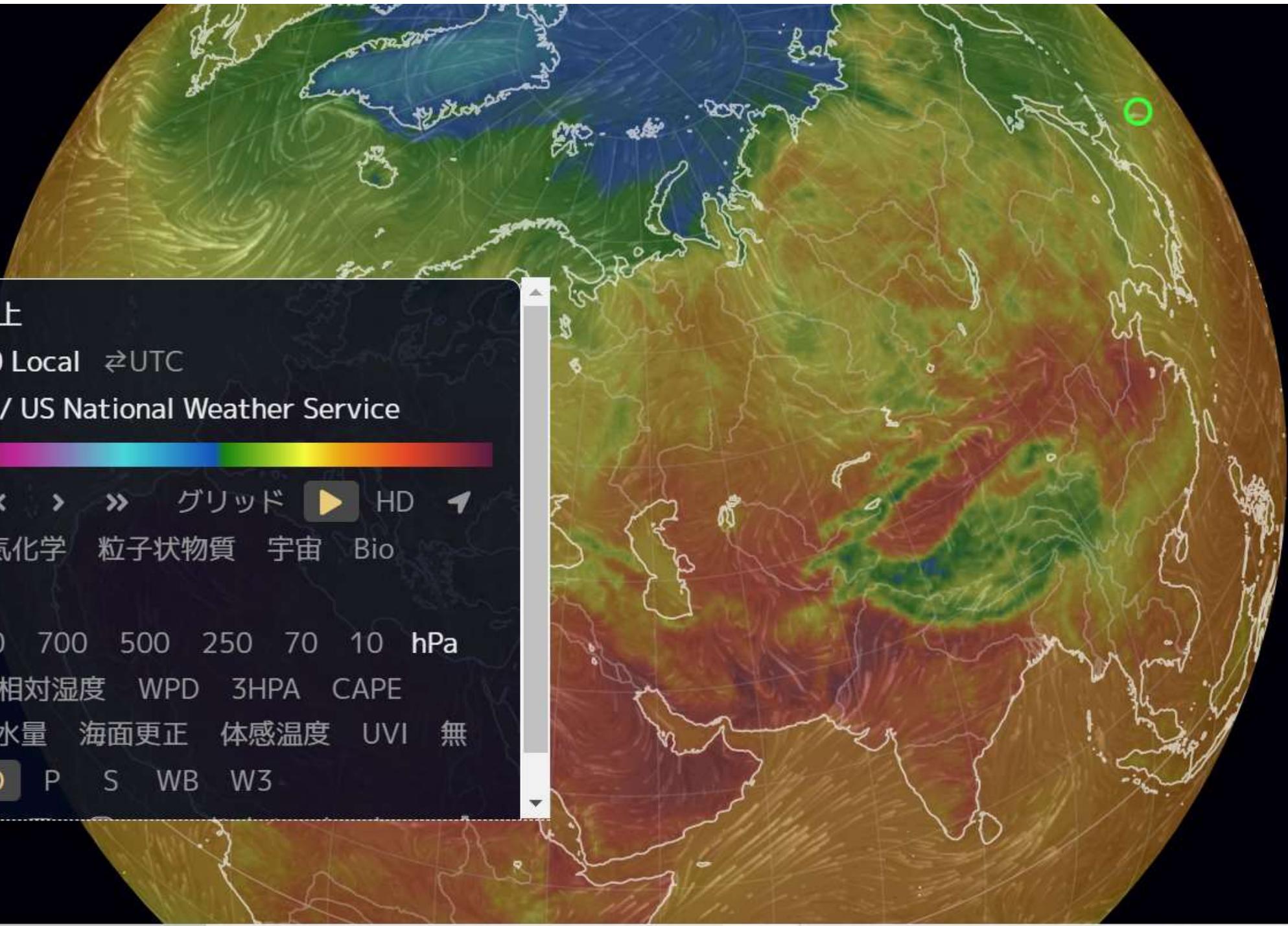
風速 海流 波浪

地上 1000 850 700 500 250 70 10 hPa

風速 気温 相对湿度 WPD 3HPA CAPE

可降水量 雲水量 海面更正 体感温度 UVI 無

A CE E O P S WB W3



アメリカのこの一週間の気温の変化

19.98° N, 153.31° E ×

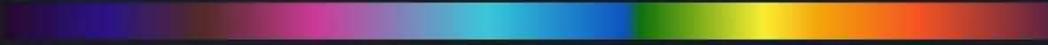
85° @ 28 km/h

29.0 °C

データ | 風速 + 気温 @ 地上

日付 | 2022-06-11 19:00 Local ⇄ UTC

データ出典 | GFS / NCEP / US National Weather Service

スケール | 

操作 | 最新     グリッド  HD 

Mode | **大気圏** 海 大気化学 粒子状物質 宇宙 Bio

動画 | **風速** 海流 波浪

高度 | **地上** 1000 850 700 500 250 70 10 hPa

レイヤー | 風速 **気温** 相対湿度 WPD 3HPA CAPE
可降水量 雲水量 海面更正 体感温度 UVI 無

投影法 | A CE E **O** P S WB W3

これだけ異常気象が発生している

- 人間活動の長い歴史の中で地球を変質させてきた
- 特に産業革命以降顕著
- 冬の暖房 夏の冷房
- 食糧を確保するための開発
- 住むところを確保するための開発
- たくさんの廃棄物
- 便利な生活に慣れてしまった人類
- 少し不便な生活をする勇気が必要なのだが

ウクライナ情勢

33歳のブラジル人→実はロシアのスパイ オランダで摘発、潜入防ぐ

🔒 有料会員記事

ブリュッセル=青田秀樹 2022年6月17日 7時12分

[list](#)

0

📧 メール

🖨️ 印刷

🗨️ コメントプラス

🗨️ 佐藤優さんのコメント



オランダ・ハーグにある国際刑事裁判所（ICC）
=2021年3月、ロイター

オランダ 内務省 は16日、同国のハーグにある 国際刑事裁判所（ICC）に入り込もうとしたロシアのスパイを摘発し、「母国だ」と主張した ブラジル に送還したと発表した。何年もの時間をかけて「偽の人生」の物語をつむいでいたという。ICCはロシアによる ウクライナ での 戦争犯罪 を捜査しており、オランダ側は「深刻な脅威を防いだ」としている。

ウクライナ侵攻のロシアの戦争犯罪を調査している機関

- ロシアのスパイがブラジル人を装いオランダに入国
- 国際刑事裁判所のインターンとして潜入しようとしていた

今日のニュース

「2年後にウクライナ存在せず」 ロシア前首相が挑発、反発広がる

6/17(金) 7:07 配信 69



ロシアのメドベージェフ前首相 = 2019年6月、フランス・ルアーブル (AFP時事)

ロシアのメドベージェフ前首相は15日、侵攻を受けるウクライナが「2年後の世界地図に存在すると、誰が言ったのだろう」と述べた。

ウクライナが次の冬の燃料不足を見越し、液化天然ガス (LNG) 購入資金を米国から調達して後から返済する案があるとの報道を受け、通信アプリに投稿した。

ウクライナ側は強く反発。現地メディアは「国の破壊がロシアの目的で、ドンバス地方の住民（保護）や北大西洋条約機構 (NATO) の脅威が戦争の理由でないことをメドベージェフ氏が認めた」と指摘した。

- ウクライナという国が2年後には地図上から無くなる
- 今年の冬の天然ガスや石油が調達できない
- 戦う力が無くなってしまおう

今日のニュース

次期大統領候補の一人ともいわれている

マリウポリと同様の状況

- セベロドネツクの状況
- ロシアは都市の施設を全て破壊する
- ドネツ川にかかる橋を破壊する
- 人道回廊を設置したというが機能していない
- ウクライナ軍は降伏せよさもなくば死しかない
- ウクライナ軍の主要部隊なので執拗に攻撃
- 成功すればウクライナ軍の反攻力は激減
- しかし、ここでの戦闘は消耗戦になっている

ウ軍兵士に「投降するか死ぬかだ」

人道回廊
スワトボ(ロシア軍支配)へ

セベロドネツク

化学工場内に	
民間人	 兵士
500人 (子ども40人)	2500人
ルハンシク州知事	親ロシア派幹部

親ロシア派幹部 (13日)

ウクライナの部隊には
2つの選択肢が残されている
降伏するか、死ぬかだ

ロシア国防省 (14日)

化学工場から
スワトボへの民間人避難のため
人道回廊設置を発表

現地15日 午前8時～

ウクライナの弾薬不足が深刻化 ロシアとの火力差10対1

6/13(月) 16:54 配信 40



りゅう弾砲を使うウクライナ兵=6日、東部ドネツク州（ロイター=共同）

【ワシントン、キーウ共同】ウクライナ東部でロシア軍との激戦が続く中、ウクライナ側の弾薬不足が急速に深刻化している。主力である旧ソ連型兵器の砲弾が払底、ロシアとの火力差は10対1に悪化したとの情報もある。米欧は相次ぎ高性能兵器供与を決めたが、前線配備や訓練に時間を要している。ロシアによる東部ルガンスク、ドネツク2州制圧阻止に間に合うかどうか微妙な情勢だ。

【写真】ウクライナ軍の戦死者1万人か

ウクライナ軍のザルジニー総司令官は12日、米軍のミリー統合参謀本部議長に重火器支援の強化を要請。ゼレンスキー大統領は12日公開の動画で「近代的なミサイル防衛システム」を供与するよう米欧などに訴えた。

ウ軍vs口軍 兵力“格差”の実態

兵器

 ウクライナと西側の情報当局による報告書

ウクライナ軍はロシアに比べて
火砲の数が**20分の1**
砲弾数が **40分の1**

9日 英インディペンデント

今やすべては
(西側が)何を与えてくれるかにかかっている
我々の火砲に対して
ロシア軍は10~15倍を
持っている


ウクライナ
軍事情報部 副部長

10日 英ガーディアン

兵士

 ウクライナ軍の死者

約1万人

(10日 ウクライナ政府高官)

総兵力 19万6000人

 ロシア軍の死者

1万5000人以上

(4月25日 英国防省 推計)

総兵力 90万人

ロシア軍、ミサイルで「米欧供与の弾薬庫破壊」...攻撃続行で「人道回廊」機能せず

2022/06/16 12:53

ウクライナ情勢

 この記事をスクラップする

【ロンドン=工藤彩香】ロシア国防省は15日、ウクライナ西部リビウ近郊で、北大西洋条約機構（NATO）加盟国からウクライナに供与された兵器の弾薬庫を長距離ミサイルで破壊したと発表した。ブリュッセルでは同日、ウクライナへの軍事支援を協議する国際会合が開かれており、これに反発したものとみられる。

▶ウクライナの穀物輸出停滞、英首相は「数日中の進展」に期待...ゼレンスキー氏と電話会談



破壊した兵器の中には、ウクライナ東部ドンバス地方（ルハンスク、ドネツク両州）で激しい砲撃を行っている露軍に対抗するため、ウクライナが米欧諸国に供与を求めていた155ミリ榴弾砲りゅうだんも含まれるという。露軍は東部でも、米欧諸国が供与した軍需品を破壊したとした。

- ウクライナの弱点がロシア領内からのミサイル攻撃
- ウクライナは迎撃ミサイルの供給を要請している

ロシア軍の戦い方の変化

- ロシア軍の最初の戦い

- 戦車を中心に攻撃

ジャベリンなどの対戦車兵器

- 道路を進行すると狙い撃ちされる

- これで多くの犠牲者を出した

- 今回の戦い

- 1点に集中して攻撃

多連装ロケット砲 70Km

榴弾砲 30Km

- 長距離を攻撃できる兵器を投入

- ウクライナに兵器が不足している

提供された兵器を活用できず

ウ軍vsロ軍 兵力“格差”の実態



ウクライナ
オレクシイ・アレストビッチ
大統領府顧問

欧米から提供される
武器がそろそろ
6月中旬以降に
ロシア軍への
反転攻勢に乗り出す

先月5日

アメリカ
自爆型ドローン
スイッチブレード
700基以上

アメリカ
新型無人機
フェニックスゴースト
121基以上

アメリカ
対空ミサイル
スティンガー
1400基以上

アメリカ
対戦車ミサイル
ジャベリン
5500基以上

アメリカ
155ミリ 榴弾砲
90基以上

アメリカ
高機動ロケット砲システム(射撃70km)
HIMARS
4基以上

イギリス
次世代軽量対戦車ミサイル
NLAW
約3600基

ドイツ
自走榴弾砲
PzH2000
7両

ポーランド
T-72
チェコ
T2戦車

ウクライナ軍窮地に

- 武器・弾薬の不足が深刻化
- 現在ウクライナ東部の攻防戦が終盤に近づく
- ロシアの砲火の激しさはすさまじいものが
- 一時ロシアの兵站不足が言われていたが今は十分
- ウクライナ側の武器供給が不十分 軍を集中させた為
- アメリカの榴弾砲弾20万発 本格的に使うと1週間もたない



負傷者は死亡者の3~5倍

- 不利な戦闘で多くの兵士が死亡 1日約100人

政府が発表
総計1万超え

なぜこのようなことになるのか

- 即戦体制にない各国は武器や弾薬に十分な量なし
- 全力で生産してもそう簡単に数を揃えることはできず
- 自衛隊も今戦争になったら弾薬は1週間で無くなる
- 現在ウクライナ東部の戦いは平地での大砲の打ちあい
- ウクライナ側は1日5~6000発 ロシア側は6万発以上
- 現状でロシアはウクライナの20倍以上の火力40倍の砲弾を持つと考えられている
- ウクライナ国内での砲弾生産能力は低い

ウクライナ軍が必要とする武器

- ロシアの無尽蔵とも思える攻撃力を凌ぐのに必要
- 榴弾砲 1000門 アメリカ90 その他10
- 多連装ロケット砲 300両 アメリカ48
- 戦車 500両 ポーランド²240
- 装甲車 2000両
- ドローン 1000台
- 絶対量が不足している
- ウクライナの所有している旧ロシア製の弾薬が不足

ウクライナ軍によると実際に届いている量は予定の10%である

なぜ遅れているのか

- ヨーロッパ各国の事情がある
- 国内での突き上げ
- 自国の防衛力を弱めてまで援助するのか フランス
- 日常生活の不安が増大する中援助するのか ドイツ

ドイツの苦悩

- EUの中でフランスと共に主導的立場
- ショルツ首相 ドイツ社会民主党＝左派の政治家
- 緑の党 自由民主党 との連立政権
- メルケル前首相のキリスト教民主同盟と対立
- 国防費1千億ユーロの緊急拠出
- ウクライナへ重兵器の供与 ＝かなり時間がかかった
- 国内産業の保護 ＝エネルギーのロシア依存
- ナチスという負の遺産を抱える
- 軍事的に中立を目指したのが評価はどうなるのか

ドイツの苦悩

- 今まで2回の世界大戦の張本人であったこと
- ナチス下での戦争責任に徹底的に取り組んできた
- その葛藤の中ロシアが非ナチ化を掲げて侵攻
- ブチャなどの反人道的行動がアウシュビッツと重なる



ドイツは東西に分かれていた

- EUの一員として責任ある行動を求められる
- 国内では批判も多く、支持率は低下している
- どうするのが一番良いのかが問われている

昨日多連
装ロケット
砲供与を
表明

なぜ遅れているのか

- ヨーロッパ各国の事情がある
- 国内での突き上げ
- 自国の防衛力を弱めてまで援助するのか フランス
- 日常生活の不安が増大する中援助するのか ドイツ
- 応援したいが援助できるものが少ない バルト3国



- 陸上でしか運搬できない
- 使い方を習得するのに時間が必要

ドイツ国内で訓練している

EU首脳がキーウ訪問

ウクライナ・キーウ
16日



 マクロン大統領



 ショルツ首相



 ドラギ首相

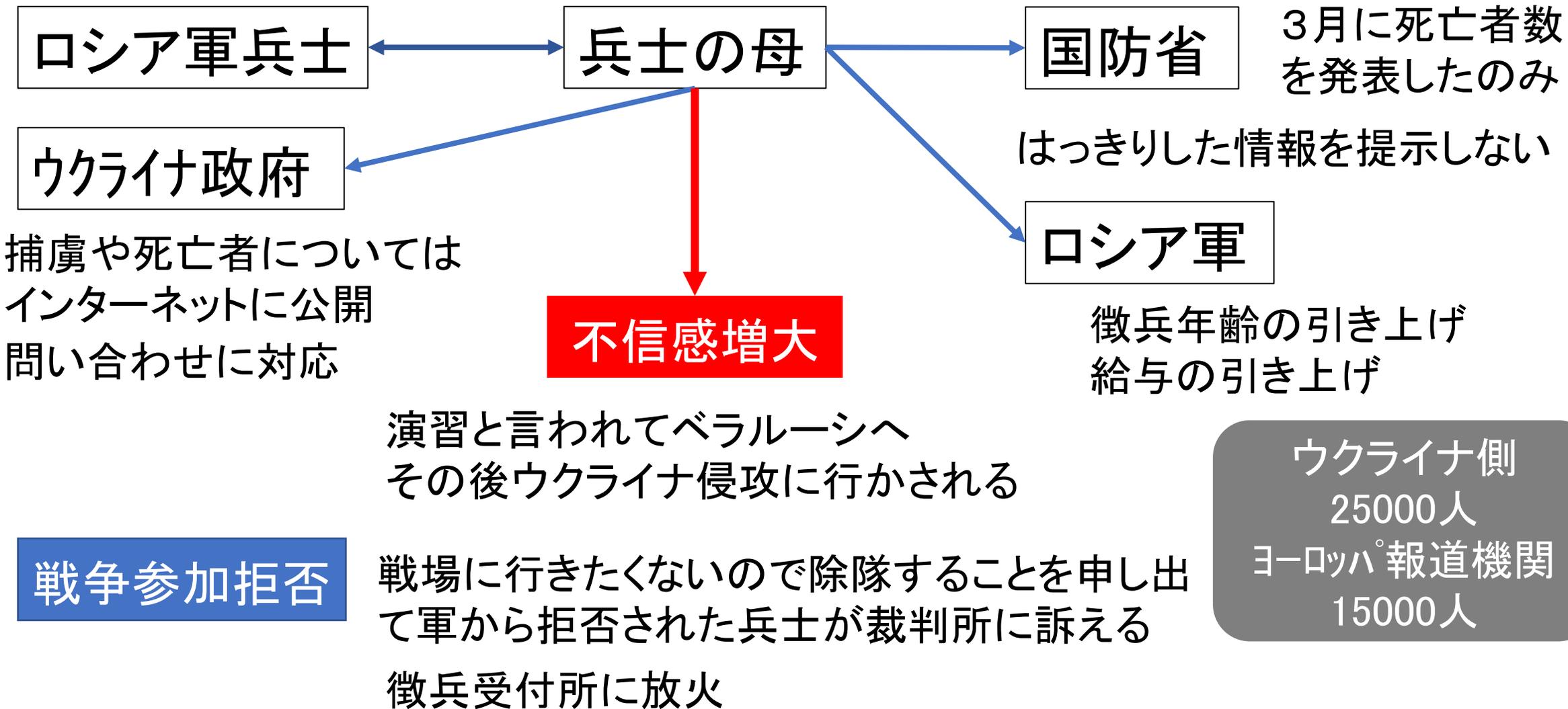


ウクライナ兵の遺体返還

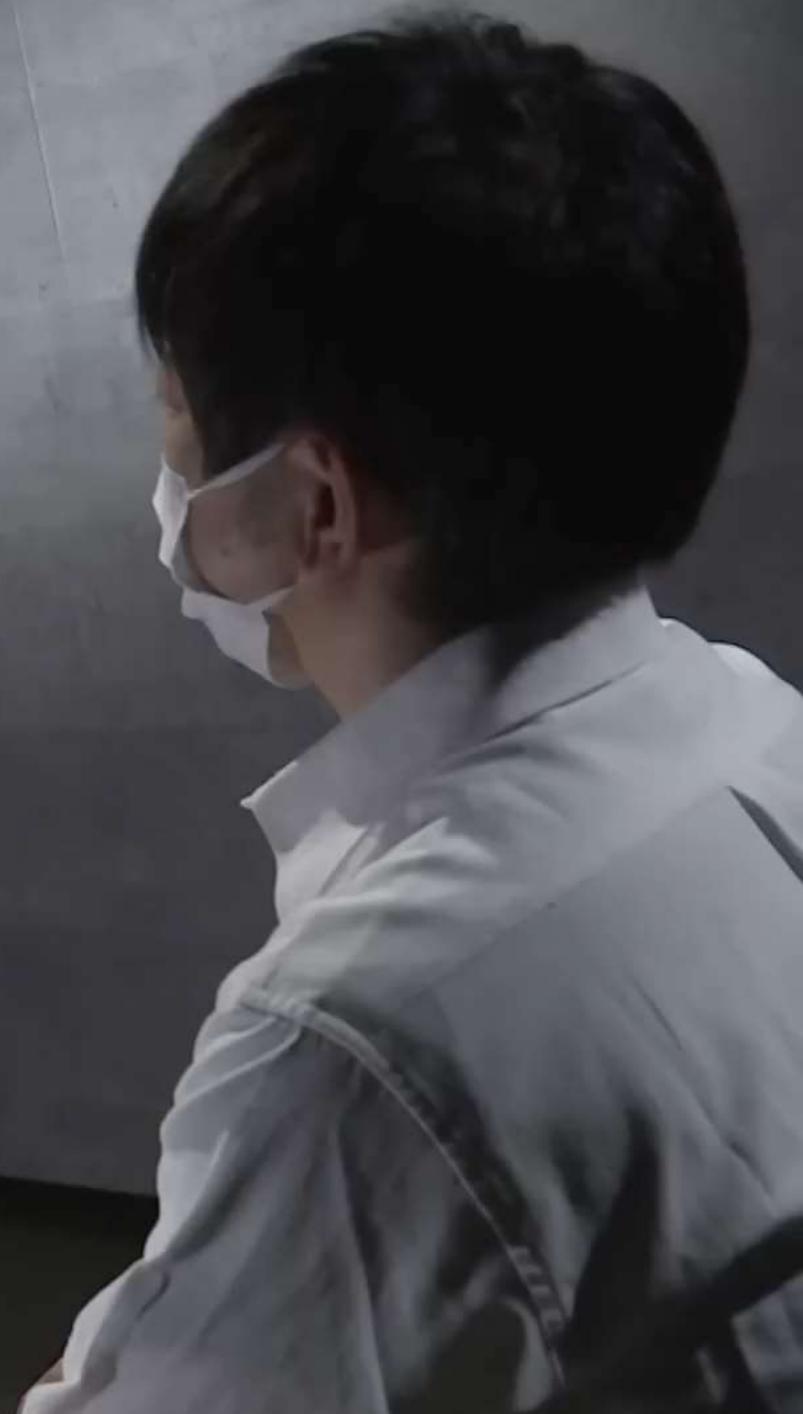


ロシア国内で問題になっている事

1351人



ロシア側からの批判



映画 ナワリヌイ
今日から公開